

基本目標 3 ～人や環境にやさしく、快適なまち～

政策 1 自然をいかしたうるおいのあるまちをつくる

施策 1 生活環境の改善

工場・事業所などからの環境汚染に対する対策や騒音・振動対策を講じ、良好な生活環境を維持するとともに、住民モラルを高め、ごみのポイ捨て、不法投棄、犬のふん放置などのない「美しいまち」を目指します。

■行政の取り組み

- 生活環境の改善に関する啓発促進
- 事業所検査の実施
- 大気汚染対策の推進
- 騒音・振動対策の強化

■地域の取り組み

- 地域でクリーンキャンペーンを実施します。
- 毎年7月の第一日曜日に一斉清掃（自治会連合会）を実施します。
- 自分のごみは自分で持ち帰ります。

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
環境基準値の達成測定局数	箇所	2	2	2	2
一斉清掃参加者数	人	2,160	2,500	2,000	2,500
生活環境の保全の満足度	点	2.8	2.9	3.0	3.1

政策1 自然をいかしたうるおいのあるまちをつくる

施策2 自然環境の保全と水辺環境づくり

かけがえのない自然環境を次世代へと引き継ぐため、地球温暖化の防止に努めるとともに、ため池や河川など、親水性豊かな水辺空間づくりを行います。

また、住民の自主的な活動が広がるよう、人材の育成や活動支援、環境情報や学習機会を設け、環境保全への意識を高めます。

■行政の取り組み

- 地球温暖化防止に向けた取り組みの推進
- 環境保全に関する活動の推進
- 生物多様性の保全
- 喜瀬川・水田川遊歩道の整備
- ため池コミュニティ事業への支援
- ため池の改修・整備

■地域の取り組み

- 環境を地域の問題として捉え保全に努めます。
- ため池コミュニティの活動に参加します。
- 河川やため池について学習します。
- 播磨町の風景に関心をもつようにします。

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
町内で確認できる野鳥の種類	種	25	25	25	25
環境教室参加者	人	420	500	350	700
水田川の河川遊歩道整備率	%	64.4	94.0	94.0	100.0
水辺空間の整備の満足度	点	3.0	3.1	3.1	3.3

基本目標 3 ～人や環境にやさしく、快適なまち～

政策 1 自然をいかしたうるおいのあるまちをつくる

施策 3 公園の整備・管理及び緑化の推進

公園・緑地の充実を図り、公園の適切な維持管理に努めるとともに、住民参加による花と緑のまちづくりを進めます。

■行政の取り組み

- 公園施設の更新計画の推進
- 緑化を推進する団体等への活動支援
- 住宅等の生けがき奨励などによる緑化の推進

■地域の取り組み

- 自治会公園の遊具などの適切な維持管理をします。
- 公園利用者のマナーを向上します。
- 街区公園の清掃、散水などの管理をします。
- 緑化ボランティア団体への新規参加者の募集やネットワークづくりを進めます。
- 県・町の補助金や民間の助成金を活用し、緑化活動を継続します。
- 緑化ボランティア団体による講座やセミナーを開催します。

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
町が補助する緑化団体参加人数	人	120	130	124	140
公園・緑地の整備の満足度	点	3.3	3.4	3.4	3.6

関連指標の推移	単位	H22	H23	H24	H25	H26
町が補助する緑化団体参加人数	人	116	122	129	120	123

政策2 資源を循環できるまちをつくる

施策1 ごみの減量・リサイクル活動の推進

住民や企業が、自らが排出する廃棄物の処理やごみの抑制、再利用について考え、住民・企業・行政が互い協力し合えるかたちで限られた資源の有効活用と環境負荷の低減を図り、循環型社会の構築を目指します。

■行政の取り組み

- リサイクル意識の普及と定着
- ごみの減量化・再資源化の推進
- 廃棄物処理施設の環境整備

■地域の取り組み

- 買い物はマイバッグを使います。
- ごみの分別・減量に対する意識をより高め、行動します。
- 自治会でごみの出し方の指導を行います。
- 資源ごみの集団回収に取り組みます。
- リサイクル品を有効に活用します。
- 企業においては、環境に対する取り組みの充実を図ります。

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
リサイクル率	%	21.2	25.0	20.0	27.0
集団回収量	t	1,170	1,300	800	1,300
ごみ排出量	t	10,760	10,000	10,100	9,500
資源化量	t	2,538	2,800	2,100	2,900

関連指標の推移	単位	H22	H23	H24	H25	H26
ごみ排出量の推移	t	10,468	10,721	10,343	10,222	10,579

基本目標 3 ～人や環境にやさしく、快適なまち～

政策 3 快適で人が集うまちをつくる

施策 1 適正な土地利用と市街地の整備

まちの玄関口として駅周辺及び住宅地の環境と景観の整備を進め、利便性が高く、にぎわいのある空間形成に努めます。

また、住民と連携・協働しながら、都市計画を推進する組織や体制を整備し、播磨町の特色であるコンパクトで豊かな自然環境をいかした個性的で魅力あるまちづくりを進めます。

■行政の取り組み

- 住民との協働による市街地整備の推進
- 用途地域の見直し
- 地区計画の啓発
- JR 土山駅周辺整備
- 良好な景観の形成
- 空き家等の対策

■地域の取り組み

- 市街地整備やまちづくりについて、地域の中で自発的に話し合い、考えます。
- 建築協定・地区計画^{*}等の都市計画制度を学習し、地域での景観や住環境を守るよう、心がけます。

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
まちの拠点に関する満足度	点	2.7	2.8	2.9	3.0

政策3 快適で人が集うまちをつくる

施策2 公共交通の維持・確保

高齢化が進展する中で、通院や買い物などの日常の移動手段として公共交通の必要性が高まっています。

また、誰もが利用できる公共交通は、安全な乗り物であり、排気ガスや二酸化炭素削減など環境負荷の軽減を図る上でも重要な移動手段であることから、住民・企業・交通事業者・行政等の連携を図り、地域の実情に応じた旅客輸送の維持・確保に努めます。

■行政の取り組み

○公共交通の維持確保

○公共交通の利用促進

■地域の取り組み

○公共交通の維持や二酸化炭素の排出削減を図るため、積極的に公共交通を利用します。

○鉄道、バスなどの乗り継ぎを積極的に行います。

○公共交通の利用促進の取り組みに積極的に参加します。

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
東加古川駅～土山駅平均乗車密度※ (H27より播磨町駅から、土山駅まで延伸)	人	2.0	3.0	2.5	3.5
路線バスの利便性満足度	点	2.3	2.6	2.4	3.0
鉄道の利便性の満足度	点	3.3	3.3	3.3	3.3

※平均乗車密度とは、バス1便あたりの平均利用者数で、始点から終点まで平均してバスに乗っている人数を表します。

基本目標 3 ～人や環境にやさしく、快適なまち～

政策 3 快適で人が集うまちをつくる

施策 3 道路・港湾整備の推進

都市計画道路の整備を促進し、道路交通網の整備に努めます。災害に強いまちづくりを目指すとともに、生活道路網の安全性の向上に努め、自転車や歩行者が安全に通行できる道路の維持に努めます。港湾施設の耐震化等、引き続き関係機関に要請し、港湾整備を進めます。

■行政の取り組み

- 町道浜幹線関連事業の推進
- 生活道路網の安全性の向上
- 道路の維持管理及び移動等円滑化の推進
- 東播磨広域道路網の強化
- 港湾整備の推進

■地域の取り組み

- 道路に不法占用物を置かないよう自治会で啓発します。
- 近距離は、極力自転車や徒歩で移動します。

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
計画街路整備率	%	63.2	65.0	69.0	69.0*
道路の整備満足度	点	2.8	2.9	3.1	3.1

※平成 32 年の目標値を達成していることから、平成 28 年～平成 32 年の 5 年間では、既存道路の周辺整備を行っていく。

政策3 快適で人が集うまちをつくる

施策4 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

障がいの有無、年齢、性別、文化などの違いを問わず、誰もが安心して生活ができる快適なまち（都市環境）づくりを目指し、公共の施設である会館や、道路、駅舎などにおけるエレベーター・エスカレーターの設定促進や、歩道の段差解消、障がい者用のトイレの設置、案内板の表示など、ユニバーサルデザイン^{*}を基本とした生活環境のバリアフリー化に努めます。

■行政の取り組み

- バリアフリー構想の策定
- バリアフリー・ユニバーサルデザインによる公共・公益施設の整備
- ユニバーサルデザインの周知啓発

■地域の取り組み

- 健常者、障がいのある人、高齢者など、地域にはさまざまな人が住んでいることを認識し、ユニバーサルデザインに関する知識を深めます。
- 事業者はバリアフリー・ユニバーサルデザインに対する理解を深め、民間施設のバリアフリー化の推進を図ります。

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
社会教育施設（10箇所）の点字表示の整備	箇所	3	7	5	10
バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり満足度	点	2.7	2.8	2.9	3.0

^{*}ユニバーサルデザイン：障がいのある人や高齢者等にやさしいものは誰にでもやさしいものであるとの考え方のもと、はじめから「バリア」をつくりださないことを目的としたデザイン。

基本目標 3 ～人や環境にやさしく、快適なまち～

政策 3 快適で人が集うまちをつくる

施策 5 上水道の整備

「安心」「安定」「持続」「環境」という目標を設定し、住民ニーズに対応した信頼性の高い水道水の供給を次世代に継承していくため、事業運営の改革・改善の取り組みを計画的に進めます。

■ 行政の取り組み

- 安心できる水道水の供給
- 安定した水道水の供給
- 持続可能な事業運営基盤の強化
- 環境保全への貢献

■ 地域の取り組み

- 上水道事業に対するの関心を高めます。
- 水源の保全に努めます。

■ まちづくり指標

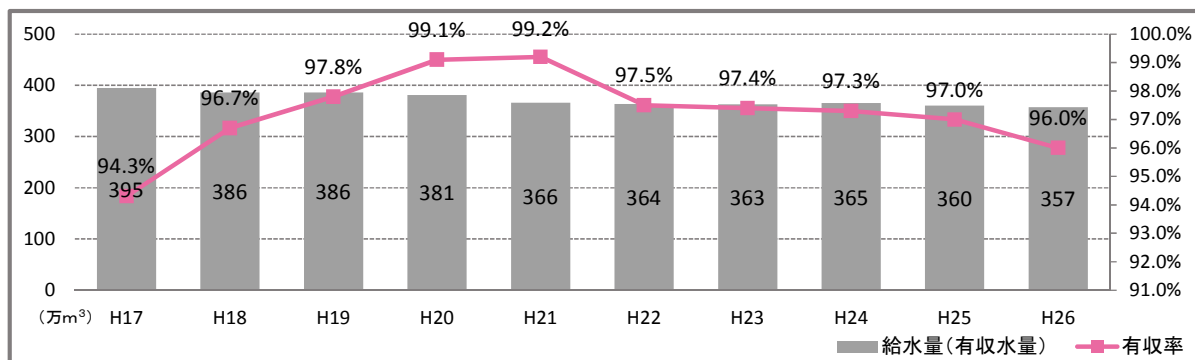
指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27*)	目標値 (H32)
鉛給水管率	%	13.3	1.4	1.1	0.1
管路耐震化率	%	21.6	23.5	35.5	37.3
総収支比率*	%	96.9	99.0	108.0	110.0
配水量*1m ³ 当たり電力消費量	kwh/m ³	0.64	0.62	0.61	0.60

※総収支比率…総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示すもので、100%以上の場合、収益で費用を賄っている状態を表します。

配水量……浄水場から各家庭に送り出された水量。

※評価値は平成 26 年度決算数値

■ 関連指標の推移



政策3 快適で人が集うまちをつくる

施策6 下水道の整備

町全体に下水道を整備し、豊かさを実感できる環境づくりを進めるとともに、浸水のない安全で安心なまちづくりを目指します。

■行政の取り組み

- 下水道に関する理解の促進
- 治水対策の推進
- 適正な下水道料金の見直し
- 地方公営企業法の適用

■地域の取り組み

○下水道が整備されると清潔で快適な生活環境が確保でき、また河川や海などの公共水域をきれいにする水質保全の役割を担っていることを理解し、供用開始後はすみやかに下水道へ接続するよう努力します。

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27※)	目標値 (H32)
普及率※	%	96.3	97.0	97.9	98.0
水洗化率※	%	90.3	91.0	92.5	94.0
事業認可面積に対する整備率	%	91.0	91.0	91.3	92.0

※普及率……下水道が整備されて、人口の何%の人が下水道を使えるようになったかを示す割合。

水洗化率……下水道が利用できる人のうち、排水設備工事を行って、実際に下水道を使っている人の割合。

※評価値は平成27年4月1日時点の値

■関連指標の推移

